

## 8-4-26 設計ソフトウェア連絡WG

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 組織

道路構造物専門委員会 4 名、道路専門委員会 1 名、河川構造物専門委員会 1 名より構成。

#### (2) 「既存設計用ソフトウェアのアンケート」の整理・分析

設計ソフトウェア連絡 WG は、設計計算に関連するエラー防止対策の一環として、ソフトウェアの提供者であるソフトウェア会社とそれを利用する建設コンサルタントが、相互に抱える課題を認識・共有し、双方の成果(ソフトウェア・設計計算書)の「品質確保」と「品質向上」を図ることを目的とする。

① 各専門分野(構造・道路・河川)の設計ソフトウェアに関するアンケート調査(意見・改善要望)を各分野の専門委員会に配布し、建設コンサルタント各社から既存ソフトウェアに関する意見・要望を収集し、とりまとめた。

② アンケート結果を対象となるソフトウェアベンダー各社に送付し、意見・要望に対する回答を収集し、とりまとめた。

③ ソフトウェアベンダー各社からの回答を各分野の専門委員会に配布し、現時点におけるソフトウェアの対応状況などを展開・共有した。

#### (3) 国交省の橋梁設計業務における各種ソフトウェアの「ダブルチェック結果の照査リスト」・「必要機能の有無照査リスト」の展開

本年度は、複数のアンケート結果のうち、課題となる項目を体系的に取りまとめた資料を改定道路橋示方書連絡 WG に提示した。

### 2. 次年度の活動について

令和 6 年度は以下の活動を継続的に実施する。

#### (1) 設計ソフトウェアに関するアンケート調査(不具合・改善要望・提案)の実施(構造・道路・河川)

#### (2) 設計ソフトウェアに関するアンケート調査結

果の課題収集と整理・分析

#### (3) アンケート調査結果に対するソフトウェアベンダーの回答のとりまとめおよび必要事項についての調整

#### (4) 協会ホームページへアップロードされているエラー事例の保守と新たな事例等の追加

(設計ソフトウェア連絡WG WG長

石井 岳生)